

こんにちは

# 会社訪問記

あらゆるニーズに抜群のキャリアで  
お応えする開発型企业です。

## 近藤設備設計株式会社(愛知県小牧市)

名古屋造形短期大学のすぐ近く、自然豊かな環境に立地。総合プラントメーカーとして全国に名を知られる近藤設備設計株式会社に伺い、近藤社長と服部取締役にお話をさせていただきました。

——古くからこの業界でご活躍されているということですが。

近藤社長(以下近藤の略)『昭和38年からですからほぼ30年ですね。当初はボイラー、工業炉等々の設計、製造、改造修理、据え付けが主な業務でしたが、公害防止の機運の高まりとともに、この業界に深く関与するようになりました。大気汚染防止関連に関しても最先発のひとつです。焼却炉は、生産工場が廃棄物処理に力を入れる頃から取り組んでいます。最近では、焼却プラントにボイラーを付けた熱回収システムを開発し、エネルギーのリサイクルに貢献しています。』

——従来のように焼却するだけではないのですね。

近藤『はい、これは焼却した際の廃熱を利用して発電ができるプラントで、省資源にもなるのです。当社は労働省のボイラー製造認可工場であり、かつ通産省の発電ボイラー製造認可工場でもある。この実績があればこそできた高性能プラントだといえます。』

——設計、製造からメンテナンスまで一貫した体



社内



社名/近藤設備設計株式会社  
所在地/愛知県小牧市大字大草字太良3374番地(本社工場)  
代表者/近藤隆雄 設立/昭和38年 従業員/50名  
TEL/0568(79)3511代 事業所/本社工場、大阪営業所  
営業品目/発電設備、ボイラー、ストーカ、産業廃棄物焼却処理装置、集塵装置、廃ガス処理装置、乾燥装置、工業窯炉、各種プラント・設計施工



近藤社長

制を整えていらっしゃるということですが。

近藤『一応、大企業並みのエンジニアを擁し、一貫してみなさんのニーズにお応えしています。』

服部取締役『メンテナンスですが、納入したプラ

ントが故障した場合、迅速に対応できることが大切です。例えば、ボイラーや発電装置は工場のラインに直結していますから、止まったら大変なんです。ですから、止まるという事態がないように保守するのが大前提ですね。』

——産業廃棄物処理に対する将来への姿勢を教えてくださいませんか。

近藤『理念として、幅広く全ての廃棄物を処理ができ、万全な公害対策を備え、廃熱を回収し、効率的に発電が行えるプラントを開発することが当社の使命であると考えています。プラントとしては、塩素の回収問題をまず解決しなくてはならないと思います。現在ではまだランニングコストが高いですからね。なお、産業廃棄物処理会社向に、都市ゴミとして発生する廃プラスチックを選別して燃料にした、専焼ボイラー(蒸発量12T/H)を本年12月には完成。平成5年1月より産業用ボイラーとして稼動致します。また、民間会社向として、廃タイヤを燃料にした専焼ボイラー(蒸発量8T/H)も本年10月に完成させます。』

——リサイクルへの関心の高まりとともに、中間処理施設の重要性も大きくなる一方ですね。』

近藤『全くその通りだと思います。』

始終にこやかに応対して下さった近藤社長、服部取締役。これからも廃棄物処理やリサイクルに欠かせない素晴らしいプラントをつくり続けてください。